

宮陵会報 2009・12

Kyuu-Ryoo

No.89

発行責任者
社団法人 宮 陵 会
広報委員会

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内
TEL 045-481-5661
(内線 2451~3)
FAX 045-413-0791
印刷所 株式会社 江森印刷所

第15回 ホームカミングデー 母校に集う



狩野会長と小山教授



楽しいクラス会になりました



フラメンコサークル “ロスガトス”
の華麗な舞が会場を魅了!!



お久しぶりです



伊藤理事長を囲んで



ご夫婦そろって神大卒



未来の神大生です!!



恩師と共に

Contents No.89

- 全国支部長会議を開催 2
- 上海支部が誕生 2
- 湘南ひらつかキャンパス
卒業生の紹介 3
- 本部だよ 4

Kanagawa University

2009 (平成21) 年10月18日(日)第15回ホームカミングデーが盛大に行われた「新しいキャンパスと懐かしい校友に会いに行こう」と毎年10月に開催されている。

式典では伊藤文保理事長、中島三千男学長に続き在校生代表の歓迎挨拶(高橋めぐみ 人間科学部4年)があり、鏡開き、次に狩野七郎宮陵会会長の乾杯に移った。会場には課外活動の報告写真などいっぱい貼られ懐かしい写真に熱心に見入る姿がみられた。またこの日にあわせ毎年同期会を集うグループの輪が体育館いっぱい広がった。

ホームカミングデーの良いところは卒業年次にこだわらず同じ学び舎にいたと言うだけでうちとけ交流するところにある。老若男女それぞれの談笑がつづいた。母校への思いはみな同じなのだと思う。なお、大学ではクラス会をされる卒業生には教室も開放している。

87支部が参加

全国支部長会議を開催

組織の活性化に向け活発な提案が

平成21年度の全国支部長会議は、10月17日(土)に11号館で、2年ぶりに開催され、海外をふくめた地域、職域、同期、同好の87支部が参加し、活発な意見交換が行われました。分科会に先立ち、大学から講師として五日市享児氏を招き「組織について」の講演があり、その後「支部組織の活性化と大学との連携」をテーマにブロックに分かれ、熱心な話し合いが行われました。

【主な意見】

◆北海道・海外
宮陵会本部・支部からの推せん入学が可能な制度：筆記だけでなく、面接を重視した試験方法を検討してほしい。



宮陵会 狩野七郎会長が挨拶

◆東北・信越

準会員の課外活動については、本部から情報提供があれば、応援し、結び付きを強めたい、との意見があり、それを受け本部では積極的に情報提供を行うよう大学へ要望するしました。

◆北陸・関東

若い会員の支部への参加は、メール・アドレスが有効ではないか。父母懇談会を上手に活用して、情報の把握に努めたい。それには、大学からも積極的な情報発信をお願いしたい。

◆東海・近畿

大学に宮陵会専門部署の設置を要望する。大学主催の懇親会を地方で順次開催できないか。

◆中国・四国

他大学との差別化を図ることが魅力ある大学として有効な手段である。

◆九州・沖縄

他支部は支部総会と父母懇談会との抱き合わせで成功しているので、実施したい。支部間の情報共有には大学の情報提供は必須。

◆京浜地区

神奈川県や横浜市に支部間で情報交換できるブロック会の設置を望む。

◆職域

若い会員は、職場に支部があることを知らない。卒業した学生が、入社・入所したら大学から連絡がほしい。

◆同期

箱根駅伝予選会敗退は極めて残念である。大学の最高のPRの場だった。(他ブロック

からも同趣旨あり)

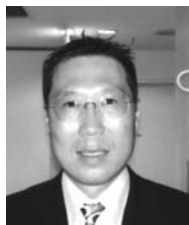
◆同好

ホームページの活用は、若い人たちをひき付ける魅力がある。OBが就職等の指導や援助をすれば、支部との連帯感がさらに出てくると思う。

以上、数多くの意見のうち一部しか紹介できませんでしたが、全体としては、大学の支援がなければ、宮陵会の存続・発展は厳しい。よって積極的な支援を要望する、というのが共通の意見でした。

分科会終了後、来賓の神奈川大学伊藤文保理事長及び中島三千男学長から挨拶があり、いずれも当日開催された箱根駅伝予選会に触れ、敗退は大学に責任がある、との発言や更なる教育改革についての説明がありました。次に宮陵会狩野会長からは、当面の課題で

上海支部が誕生



神奈川大学
同学会上海支部
副支部長
王穎さん
(平成10年
経博前)

今年の全国支部長会議には、海外からバンコク、ロスアンゼルス、上海の支部の参加がありました。その中で今春3月に結成された上海支部の王穎さんにお話を聞きました。

支部はどのような活動を

会員は20人。35〜50歳の人で構成されています。当面は仲間の親睦、交流を深めながら、会員を増やしていきたいです。

ある法人格の取得問題、ブロック会の立上げ等を早急に進めたいと挨拶があり、会議終了後は全員で記念写真を撮り懇親会で、各支部長間の交流を図りました。

地元 神奈川県が軸に!!

支部長会議の当日に配布された資料の中に、都道府県別の宮陵会会員数・就職者数(過去5年)・本学在籍者数の一覧が掲載されました。ここでは、全体に占める割合をランキングで表わしました。

- 会員数 ①神奈川県46.7% ②東京都9.2% ③静岡県5.8% ④千葉県4.2%
- 就職者数 ①東京都52.6% ②神奈川県21.5% ③静岡県4.9% ④大阪府4.2%
- 大学在籍者数 ①神奈川県41.5% ②静岡県10% ③東京都9.9% ④新潟県3.9%。

将来は役に立つ事業、例えば神大へ入学させる手助け等ができれば、と考えています。

神大留学時の思い出は

生活が大変だったので、新聞配達のアパートをずっと続けました。大学での先生が公私にわたり、とても親切に指導していただき、勉学に励むことができたことが、一番の思い出です。

上海では何の仕事をする

上海海洋大学での副教授をしています。以前は単科大学(水産大学)でしたが現在は総合大学に向けて躍進している大学です。

宮陵会会員へ上海のPRを

来年は「上海万国博」(5月〜10月)が開催されます。街並みが急ピッチで整備され、昔と変わってきています。皆さん「上海万国博」へ来てください。

湘南ひらつかキャンパス 卒業生の紹介

今回は湘南ひらつかキャンパス20周年にちなみ、経営学部、理学部を卒業されご活躍中の方々をご紹介します。

◆経営学部 国際経営学科

田中 美和さん



一九九六(平成八)年三月経営学部国際経営学科卒業/一九九八(平成一〇)年経営学研究科国際経営専攻入学/二〇〇五(平成一七)年大学院博士後期課程修了
博士論文「日本金型産業の競争力の源泉―知識集約型産業の確立を目指して―」によって博士(経営学)の学位を取得。わが国にお

ける金型産業分析の代表的な論文として当該業界で大きな話題となり、その後の論文でも日本経営管理協会が主催する「経営管理黒澤賞論文」で平成一七年度・第一七回協会賞を受賞されている。

現在は、子育てをしながら優れた研究活動を行う女性研究者のための助成金の採択を受け、母親として、研究者として、各種団体の委員、講師に活躍されている。今年度後期からは、経営学部の「先端技術と企業戦略」の講義も担当されている。研究そのものが子育てのストレス解消でもあると語る田中さんの

湘南ひらつかキャンパス 20周年記念式典挙行される

平成21年10月24日平塚キャンパス内において創設20周年記念式典が挙行された。大蔵律子平塚市長をはじめ多くの来賓をむかえ、中島三千男学長が「社会に開かれた大学」「地域社会に貢献する大学」をモットーにこの20周年をむかえることが出来たことへの謝辞の挨拶があった。

照屋経営学部長、齊藤理学部長の挨拶が続きました。

齊藤理学部長の挨拶が続きました。この日、ホームカミングデーも開催されOBや教職員も加わり盛大に20周年を祝った。



平塚祭開催される

「十人十色の未来図を」

10・24(土)・25(日)

湘南ひらつかキャンパスで24・25日平塚祭が行われた。秋晴れを期待したがあいにく曇天・雨模様。寒い中での平塚祭となった。しかしお笑いライブをはじめ各種イベント、模擬店では大きな声飛び交い熱気を呈した。

経営学部の「新規事業計画部門」発表、生物科学科、情報科学科、化学科、それ

ぞれの研究の公開は見ごたえがあった。

一方、新棟見学会も同日開催され、雄大なキャンパスの見学と学校説明があらわれた。



笑顔は、厳しい研究者というより会う人の気持ちを柔らかくほぐしてくれる優しさにあふれている。

◆理学部 情報科学科

中村 佳史さん



二〇〇〇(平成一二)年三月理学部情報科学科卒業/二〇〇一(平成一三)年四月理学研究科情報科学専攻入学

二〇〇一年在学中に三人の仲間とモバイル分野での広告配信事業を中心とする会社「メディアフラッツ」を立ち上げ、翌年は年商一、五〇〇万円、次の年には年商十一億円と急成長を遂げた。

以来、学生ベンチャー起業家を代表する存在として、各種メディアで紹介され、講演会講師としても活躍されている。二〇〇九年には年商約二十一億円とその後目覚ましい成長を続けている。

ベンチャーと聞くと時流に乗っただけと思いがちであるが、理学部二十周年記念講演会では、後輩達に座右の銘「人間万事塞翁が馬」を紹介しつつ、多くの挫折を経験しそれを元に努力を続けてこられた過程が熱く語られ、集まった学生たちは熱心に聞き入っていた。積極進取でありながらその成功の根幹には質実剛健な姿勢を持つ氏は、若くして本学を創設した米田義盛先生を髣髴とさせる、正に卒業生を代表する若き実業家である。

◆理学部 化学科

溝口 理恵さん



一九九九年(平成一二)年三月理学部化学科卒業/一九九九年(平成一三)年四月理学研究科化学専攻入学/二〇〇二(平成一四)年大学院博士前期課程修了

卒業後、米国を本拠地とし年間九〇億ドル以上の売上高、世界各国に展開している総合

科学サービス企業のサーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社に入社され、分析化学の専門家として、同社の質量分析装置の設置、稼働、保守などのサポートの業務に就いて、全国を飛び回って活躍されている。地方で装置の新設があるときなどは一週間以上泊りがけも珍しくないそう。上司に恵まれて「謙虚に語る溝口さんだが、実力本意といわれる外資系企業だけに、その力量を認められているからこそ、それに応じた対応を得ているのである。仕事の内容も、「こんなにかわいらしい女性が」と意外な感じを受けるが趣味もバイクのツーリングとハードな印象。ご主人とはその趣味が縁で知り合い、忙しいときには食事を作ってくれられる優しい方だとか。公私共に充実し、活躍されている。

◆理学部 生物科学科

柴原 直司さん



一九九七年(平成一〇)年三月理学部応用生物科学科(現生物科学科)卒業

卒業後、横浜市立大学大学院に進み博士(理学)を取得、東京工業大学にて科学技術振興機構研究員を経て、現在は特許庁審査第三部生命工学の審査官を務めている。

学生時代は、自然に恵まれた分、周辺に遊ぶ場所など全く無い環境を生かして「とにかく大学に在る間は学部の枠にとらわれず目いっぱい授業を受けよう」と勉強に専念したそう、そのときの幅広い勉強が現在の仕事に大変役立っているそう。また、学生時代はただ勉強に明け暮れるだけでなく土日を中心に活動するアウトドアサークルを立ち上げ、当初三人だったメンバーも卒業時には三〇人に達したという。いまでも、休日にはサークルでの経験を生かし、お子さんとバーベキューや外遊びを楽しんで、仕事のストレスを解消しているそう。更に将来は、幅広い知識を生かし、弁理士として大学と知的財産との橋渡しをしていきたいと語る。

本部だより

横浜 支部設立総会開催

かねてから懸案であった地元横浜各支部の設立総会が、ホームカミングデーにさきがけて平成21年10月18日開催された。

◆地元横浜市で支部設立続く

会員数の多い地元横浜の活性化に向けて本部に特別委員会を設けて準備を進める中、平成19年3月に戸塚・栄区支部、横浜北支部が設立された。平成21年2月より新たに磯子区、西・中区、瀬谷・泉区、港南区の各支部発起人による設立に向けての努力が結実し、この日、磯子区、瀬谷・泉区、港南区支部の設立総会が開催される事となった。

設立総会には本部の新井・秋田・武笠三副会長が分かれて出席し、区支部設立の意義と



平成21年10月31日(土)・11月1日(日)の両日にわたって恒例の神大フェスタ(第11回)が開催された。数々のイベントに加え、数々の濃い学部・学科の発表そしてサークルゼミ発表は多くの参加者の共感をさそった。

わい盛り上がりを見せた。毎年のことであるが六角橋商店街の出店は「味の味を、私たちが宮陵会からは「ふるさとの香り」として宮陵会地方支部特選のおいしいみかんがふるまわれ卒業生に喜んで頂いた。来年はぜひ卒業生のみなさんに立ち寄っていただきたい。



設立総会までの発起人の方々のご苦勞に對し謝意を表した後、各区毎に支部会則、組織構成、支部長以下役員を選出、事業計画等を審議したのち支部設立を決議した。

新支部長紹介

- 兵庫支部 38 賀 大森 新六
- 静岡中部支部 45 賀 浅場 武
- 神奈川大学陸上競技部OB会支部 40 経 松浦 修
- 小池ゼミナル六池会支部 51 経 石川 定夫
- 村上開明堂支部 55 電 後藤 孝延
- 宮城支部 43 賀 浅野 博之
- 磯子区支部 35 機 長田 實
- 瀬谷・泉区支部 41 工 経 川口 正寿
- 港南区支部 34 電 永森 忠邦

箱根駅伝出場かなわず…再出発を誓う

残念!のひとこと。10月17日(土)関東大箱根駅伝の予選会が東京・立川駐屯地周囲コースで行われた。シード校をのがして本大会に望みをつなぐ選手はもとより監督・コーチ陣ほか中島学長も応援にかけつけ背水の陣でのぞんだ。しかし総合16位で残念ながら本戦出場権を得られなかった。選手は、号泣して声も掛けられないほどで、応援のすべての関係者も放心状態になった。

当日は全国支部長会議でもあり「今度の正月をどう過ごしていかかわからなくなつた」と話し会議冒頭はこの話題でもちきりであった。駅伝の復活に向けて、指導者は敗因を分析し、指導方法の見直しを進め、大学へは強化に更なるバックアップをお願いし、神大の誇りであるブラウドブルーの躍動を期待したい。

横浜開港150周年記念シンポジウム 「多極化時代の都市の競争優位」

平成21年10月4日横浜キャンパスセレストホールにて横浜開港150周年協会後援のもと記念シンポジウムが開催された。当日は一般市民も多数加わり、副題である「第二の開港に向けた出航」をともに学んだ。中島学長の挨拶に続き本学経済学部教授でユーラシア研究センター所長でもある小山和伸教授の基調講演、横浜の競争優位性について実業家の立場からアクセンチュア(株)代表取締役社長の程近智氏、ウイプロ・ジャパン(株)代表取締役社長アリイヒロシ氏の対談に移った。

最終講義のお知らせ

今年度定年退職となられる先生方の最終講義の情報をお知らせいたします。詳細未定の先生については、一月八日(金)以降宮陵会事務局にお問い合わせください。(ご了承をいただいた方のみ掲載しています。)

- ◆法学部 山火 正則教授 平成22年1月23日(土) 14:40、10号館41番教室/後藤仁教授 平成22年1月14日(木) 14:40、セレストホール
- ◆外国語学部 武内道子教授 平成22年2月下旬 詳細未定
- ◆理学部 杉谷 嘉則教授 平成22年3月19日(金)時間、場所未定/大石不二夫教授 平成22年1月8日(木) 9:20、湘南ひらつか 6号館302教室
- ◆工学部 許 瑞邦教授 詳細未定/浦田 暎三 教授 平成22年3月20日(金) 時間、場所 未定/佐藤 祐一教授 平成22年2月20日(土) 15:30、セレストホール

INFORMATION

*「人をつくる」神奈川大学物語

—神奈川新聞連載
大学の創立者 米田吉盛先生を中心に「人をつくる」神奈川大学物語が地元神奈川新聞に連載されました(全20回)これは後日冊子となる予定です。神奈川大学の創建から今日にいたるエピソードや六角橋商店街の様子など掲載されています。ご期待ください。

*斉藤つよし衆議院議員誕生

昭和44年第二法学部卒業の斉藤氏は、先の衆議院議員選挙で当選(民主党南関東ブロック)をはたしました。おめでとございます。

*法科大学院合格4名

今年度大学からの難関の弁護士試験合格は4名でした。ご努力に敬意を表します。

*世界七大陸最高峰踏破へ

いよいよ最後の挑戦は南極に!
山岳部OB、大学山岳部学生は今年5月のチョモランマ登頂成功に続き南極大陸ビンソン・マシフの登頂に挑戦します。

尚、遠征隊の資金捻出に苦慮しています。ご協力をお願いします。

【連絡先】神奈川大学ピンソン・マシフ
遠征資金募金事務局 募金事務局
神奈川大学工学部機械工作センター 気付
電話 045(481)5661

*奨学金5億円に拡大(返還不要)

給付学生一、五〇〇人に倍増

大学は昨年に創立80周年を迎えたのを機に将来構想を策定しました。その中のひとつに米田吉盛教育奨学金を設立しました。経済的な理由で就学が難しい新入生に初年度の授業料の30%を給付する新入生奨学金、また地方出身者で自宅から通学する学生に年間15万円給付することなどが盛り込まれています。

*新支部続々と設立へ

今年度、次の支部の発足が決定しています。
茅ヶ崎・寒川支部
横浜西・中区支部